MBT
NEWS LETTER
第214号
'23/06/02

＜MBTロゴマーク許諾商品関連書籍の出版紹介＞

「吉野杉を使った内装材・構造材」のアレルギー抑制効果を確認した奈良医大免疫学講座：伊藤利洋教授の研究内容を紹介

・MBTコンソーシアムの事業目的の一つに"医学を基礎とする新製品開発"があります。
・その活動の取り組みとして、
①医学的エビデンスの裏付け、②社会貢献性が大、③MBTコンソーシアム会員、の3条件を満たす開発製品やサービスの申請に対し、審査委員会（委員長：渡辺好章 同志社大学名誉教授）の審査を経てMBTロゴマーク（右図）使用を許諾しています。

・現在までに19件が許諾されていますが、18番目に許諾された**タイトル「吉野杉を使った内装材・構造材」**（申請会員企業：株式会社イムラ）に関する書籍**『"奇跡の杉"の家』**（著者：井村義嗣氏、プレジデント社、表紙写真参照）が、このたび6月1日に出版されました。

・本書籍の中には、MBTロゴマーク許諾の3条件の1つ、①医学的エビデンスの裏付けとなった医学研究「吉野杉についての研究論文（2022年）」（奈良医大免疫学講座：伊藤利洋教授）が紹介されています。その概要を下記に紹介します。

・また本書籍には「産学官連携で、地域創生と循環型社会の実現へ」と題して、奈良医大：細井裕司理事長、奈良医大：伊藤利洋教授、奈良県川上村：栗山忠昭村長、株式会社イムラ：井村義嗣代表取締役社長、の4人による特別座談会企画も掲載され、MBTの地方創生への貢献が紹介されています。

・本MBTニュースレターでは、会員の皆様に、MBTコンソーシアム活動や、MBTロゴマークを知る推奨事例として紹介をさせていただきます。

・本書籍は、関西の書店やアマゾンから購入できます（定価1650円）

『吉野杉についての研究論文』（概要）

奈良医大免疫学講座
伊藤利洋教授

・樹齢100年くらいの川上村産吉野杉の中に含まれる「リポポリサッカライド（LPS）」は、他の杉に比して圧倒的に濃度が高いことが分かった。
・LPSは人間の体のあらゆる組織に存在する免疫細胞「マクロファージ」の働きを高め、免疫力を上げることが知られている。
・研究では、マクロファージに対して、吉野杉と他県産の杉の抽出物を加えて免疫細胞の影響を調べた結果、吉野杉はアレルギー誘導型のマクロファージを抑制する効果が非常に高く、他県産には効果が乏しいことが観察され、LPS濃度の差が反映されたものと考えられる。

出典: ***J Wood Sci***. 68:63 (2022)

発行
（一般社団法人）ＭＢＴコンソーシアム、　（公立大学法人）奈良県立医科大学
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内　担当　塩山
ＴＥＬ：0744-29-8853（直通）、ＦＡＸ： 050-3164-5598、 Email: mbt@mbt.or.jp